

～ タイムリーな情報を、いち早く皆様にお知らせします ～

## ◆霧研・経営幹部養成研修

(大阪第28期・鹿児島第18期) 募集案内

今の経営者は、2つの時代的経営課題を持っています。ひとつは次の時代の経営戦略を再構築しなければならないこと、二つ目は現在の経営で収益を確保しなければならないことです。しかし、殆どの経営者が、その課題の答を描くことが出来ないだけでなく、その解決方法を見出すことが出来ない状態です。このような時に、中間の管理職はどのように役割を果たしたら良いのでしょうか。今までの管理職の役割の果たし方では成り立ちません。これが、今の霧研に求められているテーマです。今までの霧研で学んだことは、経営者ありきで、それを前提にしての管理者として最適なあり方や役割の果たし方でした。これからの中間管理者ですら、管理者から部門経営者になっていかなければ、役に立たないだけでなく邪魔者となります。これを大前提にして、来期の霧研は取組んでいきます。

【対象者】企業の新時代を担う

経営後継者・中堅幹部・経営幹部候補

- 【研修目的】
- ・戦略考動ができるようになる
  - ・人と組織を動かせるようになる
  - ・確実に結果を残せるようになる
  - ・世界に通用する人財になる

【期間】2014年4月～2015年3月（1年間）

- 【研修内容】〈前期〉第1部 管理技術の基本の再確認  
第2部 管理技術の実践活用  
◎国内視察・交流会  
〈後期〉第3部 経営技術の実践活用  
第4部 グローバル経営センスを磨く  
◎経営陣との事例研究合同検討会  
または海外視察会

※開催概要、会費及び申込み方法等の詳細につきましては、BSOまでお問い合わせください。

## ◆適材適所の捉え方

現代にはバランス感覚のない偏った専門家、奇人変人と言われるような逸材が沢山いますが、彼らに適した活躍をして貰うことが大変困難な状況にきています。固定的な仕事がない上に、要求されることがコロコロと変化する現代では、その時々で適所に使い活かすことのできる、いわゆるIPRが居ないことが一番大きな原因のようです。BSOが現在の役割を果たす中でもその役割の必要性を感じます。

## ◆ベトナム・ビジネス交流会 【霧研合同】

～なぜ、国際的ビジネス交流、研究会を行っているか～

(1) 日本産業の海外化の開始と問題 日本の中堅中小企業は国内でのコスト競争に勝ち残るために、人件費の安い発展途上国に生産拠点を移動させました。この流れに対してBSOは警告を発し、コストのためにはなく国際分業の視点から世界の産業の健全化と日本産業の健全な存続のための「海外化」を行うべきことを提案し、実施して来ました。

(2) 台湾との関係 韓国と違って台湾は、長い時間をかけて日本の産業文化の転移がなされました。日本企業との国際分業的な相互発展する関係が出来て来ましたが、最近では日本企業の意識のなさで、このような健全な関係はずれ、台湾産業のみで世界化の道を歩んでいます。

(3) 韓国との関係 スタート時点の日本企業の姿勢はどちらでも変わりはありませんでしたが、韓国は台湾とは違い、国際分業という視点での関係が出来るような土壌がなかったように思います。すなわち、ひとつは韓国の国の運営手法が徹底して反日的に行われてきたこと、もう一つは産業の発展も自分達の企業利益のためにのみ徹底して利用する視点での関係で来たことです。

(4) 中国との関係 中国産業との関係は、時間的なずれはありましたが、基本的には韓国産業との関係と似ています。

## ◆ベトナム視察交流会(2月度・3月度)

参加者募集中!

ベトナム視察交流会は、市場・企業視察だけでなく、現地の経営者たちとの交流勉強会も組込んでおり、現地の生の声を聞くことができる場となっています。開催要項をお送りいたしますのでご興味のある方はぜひお問い合わせください。

<日時>

2月度：2014年2月22日(土)～26日(水) ※27日帰国

3月度：2014年3月13日(木)～16日(日) ※17日帰国

<活動内容>

- ①企業視察・訪問(3～4社視察訪問)
- ②ベトナム経営者団体との交流会
- ③マッチングミーティング

詳しい記事やその他の情報は、BSOのホームページ <http://www.bso.co.jp> へ

情報てんこもりは、弊社の協働活動(受託事業・企画事業・出版事業)のタイムリーな情報をいち早く多くの方々にご提供いただく為に発信しております。(お問い合わせはshienkikaku@bso.co.jpまで)